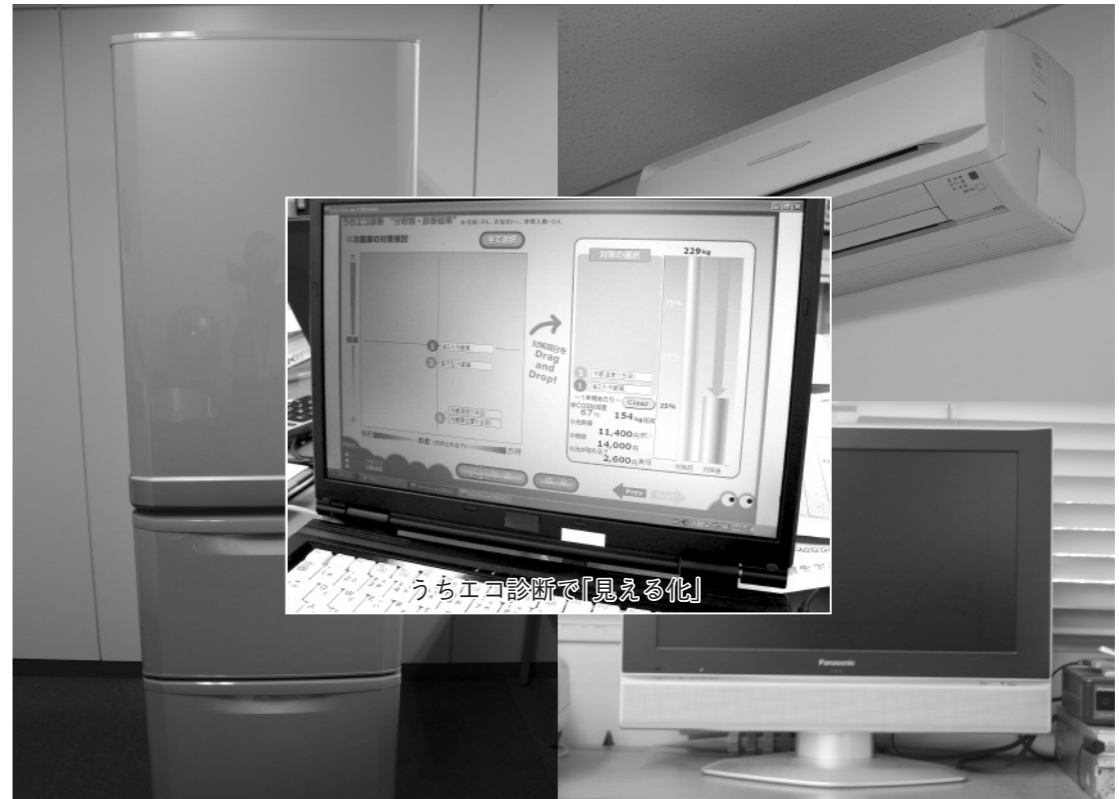


特集2

家庭での省エネを進めよう

「うちエコ診断」しませんか

問▼環境首都推進課
(☎ 71) 2206



■うちエコ診断とは
事前調査票から、家庭のどこからどれだけエネルギーを使用しているかを専用のツールで診断。専門的な知識を有する診断員が、各家庭の状況に応じ、省エネの効果的な対策を提案(光熱費削減量の仮算出、太陽光発電機器購入時に、どれくらいの期間で元が取れるかの計算など)します。

●うちエコ診断の流れ

- ①参加申込書を提出
- ②事前調査票が送付されたら、住居の形態や光熱費・家電の利用状況を記入し、返送
- ③受診日に各会場へ。家庭の二酸化炭素排出状況などの説明と、効果的な削減対策を提案
- ④受診日に配付されたアンケートと受診日の約3か月後に送付されたアンケートを記入し、返送

受診日	会場
10月23日(土)	中心市街地広場屋外テント(御幸本町)
10月30日(土)	エイデン安城住吉店(住吉町)
11月9日(火)	文化センター
11月14日(日)	エイデン安城店(三河安城東町)
11月26日(金)	文化センター
12月4日(土)	エコタウン桜井(城山保育園跡地)または桜井福祉センター(桜井町)

※時間は未定です。

首都推進課(〒461-8501住所記載不要) kankyo@city.aichi.jp
 ●参加申込書は、同課、市公式ウェブサイトで配布。
 ●その他 診断直後・診断3か月後の両方のアンケートを提出した人の中から、抽せん記念品を進呈します

あんじょうダイエット 30チャレンジ・モデル 事業報告

●概要 平成20年12月から平成21年11月まで、市内約270世帯が参加して、家庭全体・エアコン・テレビまたは冷蔵庫の3つを、「省エネナビ(※)」を使って計測しました。集めたデータをデータベース化し、各家庭向けに電気使用の診断書を作成。また、参加者間で、二酸化炭素排出量削減率の順位付けや、24時間の電力使用情報などを公開しました。

※電気を使うと、電気使用料金や二酸化炭素排出量などを表示する機器。電気の使用を「見える化」することで、省エネを促す。



●結果 二酸化炭素の排出量が、実施する1年前と比べて、全体で43トン減りました。これは、前年の電気使用量の約5%にあたり、光熱費に換算すると、1家庭あたり7680円節約したことになります。

個々のデータを見ると、二酸化炭素排出量を5%以上削減できた世帯が半数を超え、また、全体の4分の1の世帯では、削減率が10%以上となりました。参加者へのアンケートでは、90%の世帯が「省エネ活動に役立った」と回答。また、今後新たな省エネの取り組みを実施する場合、72%の世帯が参加を希望しました。

*参加者の声

■松谷和也さん(51歳)



●気づいたこと 電気の請求書を見なくても、毎日数値で見えるので、意識啓発に良いですね。日中、カーテンを閉めたまま電灯をつけて新聞を読むなど、もったいない生活をしていくことに気づきました。夕方から翌朝までは、電気が安い契約なので、この時間内に家事をするようにしました。

■平右直樹さん(23歳)



●気をつけるようになったこと 電気使用量が目標値を超えたとき、赤ランプが点灯するのが、常に気になりました。そのうちに、ドライヤー1回の電力量や、いろいろな省エネ対策を考えるようになりました。

●家族の理解と協力 家族の朝シャワーなど、もったいないと思うものもありました。しかし、生活の上で必要な部分もあるので、仕方ないと思うようにしました。無理にがんばって生活しても続かないです。

家族も、省エネナビを見ていたので、よく協力してくれました。省エネを意識してか、家族がまとまって食事をする、という機会も増えました。

図 二酸化炭素排出量の割合の内訳

